

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	「まちとも」と連携した放課後のスポーツ推進					
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。					
指標	スポーツ推進委員・地域スポーツクラブと連携した地区数		現状値 (2018年度)	2地区		
			目標値 (2023年度)	5地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	3地区	4地区	5地区	5地区	5地区	
実施状況	3地区	2地区	4地区	3地区		
2022年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 忠生第三小学校(木曾地区) 町田スポーツ文化ネットワーク <ul style="list-style-type: none"> ・講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。 ○ 小山ヶ丘小学校(小山地区) おやまスポーツ・文化倶楽部 <ul style="list-style-type: none"> ・講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。 ○ 南大谷小学校(玉川学園・南大谷地区) スポーツ塾J.VIC <ul style="list-style-type: none"> ・講師を派遣し、陸上競技教室等を開催した。 ○ 特定の小学校との調整無し ドリームスポーツ <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育全般の指導や子どもの預かり事業に関して連携の可能性を検討している。 					
総括	昨年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校において「まちとも」と外部指導員との連携を中止していた期間があったが、今年度に関しては、通常開催できた地区が複数あった。 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、2023年度以降、新たに連携事業の実施が出来るよう調整を重ねていく。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-2		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	市内10地区のスポーツマップの作成・活用					
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を作成し、市内の全小学生に配布します。					
指標	スポーツマップを作成した地区数		現状値 (2018年度)	0地区		
			目標値 (2023年度)	10地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討調査	2地区	4地区	7地区	10地区	
実施状況	検討調査	2地区	4地区	7地区		
2022年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・町田第一地区、町田第二地区、玉川学園・南大谷地区のスポーツマップを作成し、ホームタウンチーム(FC町田ゼルビア)と連携を図り、区域内の小学校9校に配布した。 ・2020年度に作成した南地区、高ヶ坂・成瀬地区、2021年度に作成した相原地区、小山・小山ヶ丘地区のスポーツマップについては、時点更新の修正をし、新1年生を対象に区域内の小学校17校に配布した。 ・配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。 ・2023年度以降作成する地区のスケジュール、掲載内容について検討を行なった。 					
総括	町田第一地区、町田第二地区、玉川学園・南大谷地区のスポーツマップを作成し、小学校9校に配布したほか、南地区、高ヶ坂・成瀬地区、相原地区、小山・小山ヶ丘地区についても新1年生を対象に区域内の小学校17校にスポーツマップを配布した。 引き続き、関係各課や関係団体と連携し、2023年度は、新たに3地区(木曾地区、忠生地区、鶴川地区)のスポーツマップを作成する。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-3		実施主体	教育委員会		
取組項目	小学校連合体育大会の開催					
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。					
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2018年度)	未開催		
			目標値 (2023年度)	42校		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	14校	42校	42校	42校	42校	
実施状況	14校	20校	42校	42校		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、小学校連合体育大会を開催した。 10月13(木)14日(金)に町田市立小学校42校の6年生13日(木)には1,866人、14日(金)には1,891人、合計約4,000人が町田GIONスタジアム(町田市立陸上競技場)に集まり、各種競技を行った。</p> <p>【参加校】 町田市立小学校 42校</p> <p>【競技種目】 (1)100m走 (2)50mハードル走 (3)走り幅跳び (4)走り高跳び (5)チャレンジ種目(特別支援学級等種目) (6)② 800m走 (7)400mリレー</p>					
総括	子どもたちの、自己の目標を達成する喜びを味わう姿や、他校との交流を深める中で、互いに認め合い励まし合う姿が見られた。本大会を通じて、他校の児童と交流、競技・応援することにより、スポーツを楽しむ機会となった。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-4		実施主体	スポーツ振興課 オリパラ推進課 指定管理者		
取組項目	トップアスリートとの交流機会の創出					
取組内容	市内外で活躍する町田市ゆかりのトップアスリート等と市民との交流の機会を創出します。					
指標	トップアスリートとの交流機会の創出		現状値 (2018年度)	年 1回		
			目標値 (2023年度)	年 9回		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 8回	年 9回	年 7回	年 8回	年 9回	
実施状況	年 11回	年3回	年14回	年19回		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>【こどもマラソン大会】 ・町田市出身の関根花観さん、包括連携協定を締結している日本生命所属の桐生祥秀選手に出演いただき、選手にメッセージを頂戴したほか、表彰式でのプレゼンターや選手と一緒に走るなどの交流を図った。</p> <p>【パラバドインドネシア代表交流】 ・ホストタウンであるインドネシアのパラバドミントン選手団の来日に合わせ、市内の小中学生とバドミントンプレーや質疑応答、写真撮影などを行う交流会を実施した。</p> <p>【ブラインドサッカー体験会】 ・野津田公園で開催されたグリーンフェスティバル2022に合わせて、ブラインドサッカー元日本代表で町田市ゆかりの寺西選手らによる、ブラインドサッカー体験会を実施した。</p> <p>【総合体育館】 ・日本ハンドボールリーグ出場選手によるハンドボール教室 ・元U-17・20・23日本代表コーチによるフェンシング教室 ・Vリーグ所属選手によるバレーボール教室 ・神奈川大学(関東一部リーグ)所属選手によるバスケットボール教室 ・元アメリカ代表バレーボール選手によるバレーボール教室</p> <p>【三輪みどり山球場】 ・元日本代表サッカー選手によるサッカー教室</p> <p>【室内プール】 ・元日本代表選手によるカヌー体験会</p> <p>【町田中央公園】 ・元日本代表陸上選手による走り方教室</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 ・元リーガーによるサッカー教室</p> <p>【野津田公園】 ・青山学院大学陸上競技部所属選手による競技会(計4回) ・元オリンピック出場選手によるレスリング体験会と元ブラインドサッカー日本代表選手による体験会 ・5大学(明大、青学大、立大、中大、法大)の駅伝選手による競技会 ・八王子ロングディスタンス 実業団に加盟する長距離のトップアスリートが集結する大会。</p>					
総括	新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じたうえで、トップアスリートとの多種多様な交流イベントや教室を実施し、昨年度よりも多く開催することができた。トップアスリートとの交流機会において、様々な競技を実施したことで、子どもから高齢者まで、幅広い世代の方にスポーツの楽しさを伝えることができた。また、パラバドミントンインドネシア代表との交流やブラインドサッカーについては、オリパラのレガシーとして、今後も継続的に実施することを予定している。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	1-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	企業単位で行えるスポーツ情報、出前講座の提供					
取組内容	市内企業を対象として健康経営の必要性を啓発し、事業所によるスポーツ推進の取組みを支援します。					
指標	出前講座の提供を行った企業数		現状値 (2018年度)	0社		
			目標値 (2023年度)	10社		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	1社	3社	5社	8社	10社	
実施状況	2社提供 1社調整	1社	1社	1社		
2022年度 具体的な 取組み	【町田中央公園】 「協和キリン株式会社」社員向けに歩行姿勢測定会の実施・正しい歩き方に関する講義。(2021年度より継続案件)2022年10月13日(木)・14日(金)合計92人 「協和キリン株式会社」社員向けに当施設自由参加教室POWERCARDIOの無料体験会を実施。 2022年11月7日(月)・21日(月)合計13人					
総括	2021年度より継続で行っている企業向けの講義を行った。引き続き、企業連携を図れるように、調整をする。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	1-2-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 スポーツ推進委員 ほか		
取組項目	子どもの健診時のスポーツ啓発					
取組内容	3歳児健診等子どもの健診時に、子育て中でも日常生活の中で行えるスポーツについて情報提供します。					
指標	啓発物の作成・配布		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討 作成	実施	見直し 実施	見直し 実施	実施	
実施状況	検討 作成	実施	見直し 実施	見直し 実施		
2022年度 具体的な 取組み	・過年度に作成したチラシの見直しを行い、市ホームページにて紹介している運動に関する動画情報を掲載し、健康福祉会館や地域保健センターにチラシを設置した。					
総括	引き続き保健所と連携を図りながら、子育て中の方に対し、日常生活の中で行えるスポーツに関する情報を発信し、効果的に啓発できるより良い方法を検討する。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	1-2-3		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 体育協会 ほか	
取組項目	家族で参加できるスポーツイベントの開催				
取組内容	すぽーつ祭まちだや市民体カテスト等のイベントが連携し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。				
指標	市民体カテスト年間参加者数 (20歳代～50歳代まで)		現状値 (2018年度)	年 75人	
			目標値 (2023年度)	年 450人	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	検討	年 450人	年 450人	年 450人	年 450人
実施状況	検討	検討	年 151人	年 144人	
2022年度 具体的な 取り組み	<p>特に参加者の少ない20代から40代の働き世代に多く参加してもらえるよう、親子で楽しめるニュースポーツ体験コーナーやレディオ体操コーナーの設置を行った。</p> <p>また、体カテストの測定対象は18歳から74歳までであるが、ファミリーで楽しんでもらえるように、17歳以下、75歳以上の方の測定用紙を用意して幅広い年代の方にご参加いただいた。</p> <p>その他の新たな取り組みとして、包括連携協定を締結する予定の明治㈱に協力いただき、骨密度測定会を実施した。</p>				
総括	<p>昨年度の反省を活かし、小学生用の測定用紙を準備し、ファミリーで測定会に参加できるよう配慮した。その成果もあってか、特に小学生や未就学児のお子様も多くご参加いただいていた。</p> <p>2023年度は、より多くの方に参加していただけるよう、ニュースポーツ体験の内容や広報を見直し、企画を練っていく。また、様々な団体にご協力いただき、イベント自体の拡充を図っていく。</p>				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-1		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員		
取組項目	高齢者へのニュースポーツ啓発					
取組内容	スポーツ推進委員がニュースポーツを普及し、高齢者の活動でスポーツの面白さ、楽しさを伝えます。					
指標	高齢者支援センターと連携して事業を実施した地域		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	6地域		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	
実施状況	1地域	1地域	5地域	5地域		
2022年度 具体的な 取り組み	未実施である堺地域に事業実施の打診を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況やスケジュールの都合等により折り合いがつかず、講習を行うことができなかった。しかし、既に実施を行った南第一、第二、第三、忠生第一、第二高齢者支援センターや自主グループから相談があった際には引き続きフォローを行っている。					
総括	今年度は新たな地域で実施することは叶わなかった。次年度に向けては、改めて地域介護予防推進委員会議の場で、事業についての説明を実施するとともに、個別にも打診を行っていくことで実施地域を拡大していきたい。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	温浴施設を活用したスポーツ環境の充実					
取組内容	室内プールに併設する温浴施設を活用し、スポーツ教室等を通じて地域の仲間づくりや多世代交流の機会を創出します。					
指標	温浴施設を活用した事業の実施		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	—	—	検討	実施	実施	
実施状況	—	工事	工事・検討	実施		
2022年度 具体的な 取り組み	多目的室において、一般利用のない時間を活用して自主事業や教室事業を行い、より多くの方がスポーツに触れ合う機会を創出できた。					
総括	多目的室の一般開放は、主に卓球・ダンス・武道の団体利用があり、子どもからお年寄りまでの幅広い世代で施設をご利用いただくことができた。また、予約のない空き時間では、指定管理者の自主事業やトレーニング室の教室事業を行い、利用者が快適に活動できる環境を創出することができた。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-1		実施主体	障がい福祉課 子ども発達支援課 指定管理者		
取組項目	スポーツ・レクリエーション教室等の開催					
取組内容	障がい者(児)スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しめる環境を整えます。 ①障がい者スポーツ教室(旭町体育館、すみれ教室プール) ②指定管理者による教室・イベント事業					
指標	開催回数		現状値 (2018年度)	①体:年35回、プ:年30回 ②年51回		
			目標値 (2023年度)	①体:年36回、プ:年36回 ②年55回		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	①体:年36回 プ:年36回 ②年53回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	
実施状況	②37回	①体:年5回 プ:年2回 ②28回	①体:5回 プ:6回 ②44回	①体:29回 プ:22回 ②16回		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>①障がい者スポーツ教室(サン町旭体育館、町田市子ども発達センター温水プール)を開催した。 【実施主体】障がい福祉課 【内容】6月から土曜日(月2〜3回)の午後、障がい児者を対象に、有償ボランティア指導員によるスポーツ教室を実施した。体育館では体操、マラソン、バドミントン、バスケットボール、トランポリンを実施した。温水プールでは水泳を実施した。 延べ参加人数:体育館 575人、プール124人</p> <p>②指定管理者による教室・イベント事業 【総合体育館】 ・ユニカール、スルーネットピンポン、ボッチャ、車いす10mタイムトライアル等、子どもから高齢者まで、障がい者も健常者も一緒に楽しめるスポーツイベント「チャレンジマッスル2022」を開催し、延べ1,896人が参加した。 (実施種目) ユニカール、スルーネットピンポン、ボッチャ、キックターゲット、車いす10mタイムトライアル、キップ・ジュニアサーキット(未就学児対象) フットサル教室(未就学児対象、小学1・2・3年生対象)、走り方教室(未就学児対象、小学1・2・3年生対象、小学4・5・6年生対象)※予約制、健康測定会(体組成)、野菜や栄養に関する展示(町田市保健予防課)、栄養習慣・栄養相談、地域の野菜について(町田地域活動栄養士会)、ジェルキャンドル、キャンドルすくい、東京2020オリンピック・パラリンピック1周年記念ブース</p> <p>【室内プール】 ・ボッチャ&モルック体験会、シッティングバレー体験会、フライングディスク体験会を実施した。</p> <p>【町田中央公園】 ・障がい者卓球教室を実施した。</p> <p>【野津田公園】 ・関東パラ陸上競技協会との共催により、障害のレベルと個人の体力・技術のレベルに合わせたパラ(障がい者)陸上競技教室を実施した。</p>					
総括	<p>新型コロナウイルス感染が拡大していたため6月から開催、3年ぶりに複数回の教室を実施した。感染防止対策で密を回避するため集団競技は自粛、個人競技については消毒の徹底により例年と同じ競技を実施したが、温水プールでは水中でマスクを付けられないなど感染対策が難しいため、密にならない人数での定員開催となり1回ごとの参加人数が減少した。検温、体調確認、備品の消毒など手間が増えたが、指導員の協力によりコロナ禍での障がい児スポーツ教室が実施できた。 イベントでは、障がい者スポーツの実施が定着してきた。また、室内プールでは今年度も障がい者スポーツ教室を実施し、スポーツ環境の充実を図った。</p>					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-2		実施主体	オリパラ等国際大会推進課 スポーツ振興課		
取組項目	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催					
取組内容	市内の小中学校で、障がい者スポーツの体験教室キャラバンを行います。					
指標	年間参加者数		現状値 (2018年度)	年 710人		
			目標値 (2023年度)	年 1,000人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 1,000人	年 1,000人	年 1,000人	年 1,000人	年 1,000人	
実施状況	年 1,465人	年 760人	年 794人	年 1,235人		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>市内小中学校を対象にパラバドミントンの体験教室を実施し、競技説明や競技用車いす体験、バドミントン体験を行った。 その他の取り組みとして、パラバドミントンインドネシア代表との交流会を実施し、町田第六小学校および総合体育館でバドミントン体験などを行った。 また、野津田で行われたスポーツイベントに合わせてブラインドサッカー体験会を実施し、ドリブルシュート体験などを選手の指導に基づき行った。</p>					
総括	<p>パラバドミントン教室を市内小中学校15校1,235人の児童に対して実施することができた。 加えて、今年度はパラバドミントンインドネシア代表を招いた交流会を実施し、町田第六小学校で57人、総合体育館で実施した交流会で26人の子どもに対してパラスポーツ教室を実施したほか、日本ブラインドサッカー協会と連携し、ブラインドサッカーの体験教室を実施し成人も含む62人が参加した。 2023年度もパラバドミントン体験教室を継続して実施するとともに、パラバドミントンインドネシア代表との交流やブラインドサッカー体験教室を行っていく。</p>					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-3		実施主体	指定管理者 スポーツ振興課	
取組項目	障がい者のスポーツ参加機会の提供				
取組内容	<p>インクルーシブスポーツを推進し、障がい者にスポーツ施設開放利用の周知することにより、利用者数を増やします。</p> <p>※インクルーシブスポーツとは、子どもから高齢者まで、障がい者も健常者も一緒に楽しめるスポーツ</p>				
指標	スポーツ施設開放年間利用者数		現状値 (2018年度)	20,401人	
			目標値 (2023年度)	22,000人	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	検討 調整	調整	21,000人	21,000人	22,000人
実施状況	検討 一部実施	調整 一部実施	6,826人	8,944人	
2022年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】 3,221人 ・トレーニング室の障がい者利用者数 3,221人</p> <p>【室内プール】 4,818人 ・障がい者利用者数 プール 4,197人、トレーニング室 621人</p> <p>【町田中央公園】 423人 ・トレーニング室の障がい者利用者数 423人</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 5人 ・障がい児・者団体利用(自主事業) 平日昼間の空き枠を利用して実施</p> <p>【野津田公園】 482人 ・パラ(障がい者)陸上競技教室 関東パラ陸上競技協会と共催「パラ(障がい者)陸上競技教室」では、障害のレベルと個人の体力・技術のレベルに合わせた競技教室を実施し、65人が参加した。 ・障がい者個人利用者数 417人</p>				
総括	昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症拡大防止による制限が緩和され、利用者は増加した。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-1		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣					
取組内容	大学・企業連携により、子どもの遊びやスポーツ指導等、学生や民間企業が地域で活動する環境を整えます。					
指標	連携団体数		現状値 (2018年度)	1団体		
			目標値 (2023年度)	7団体		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	4団体 検討 調整	5団体 検討 調整	6団体 検討 調整	7団体	7団体	
実施状況	3団体 4団体 検討 調整	1団体 検討 調整	2団体 検討 調整	5団体 調整		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本体育大学 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人スポーツ塾J.VICとの協働で、日本体育大学所属の指導者が講師となり、女性や多世代を対象とした運動プログラムの動画を作成し、町田市ホームページで公開した。 ○法政大学 <ul style="list-style-type: none"> ・法政大学の教員や学生が講師となり、協定に基づくスポーツ教室(バドミントン、陸上競技、サッカー、バスケットボール)を実施した。 ○国士舘大学 <ul style="list-style-type: none"> ・国士舘大学、桜美林大学の学生に、こどもマラソン大会当日の運営にボランティアとしてご協力いただいた。 ○第一生命株式会社 <ul style="list-style-type: none"> ・市との包括協定に基づき、こどもマラソン大会に選手派遣を依頼し、こどもたちへの激励メッセージ発声やプレゼンターとして登壇していただいた。 					
総括	スポーツ教室への講師派遣やイベントへの学生ボランティアの派遣等、各団体とスポーツを支える人材の派遣に関する連携を実施することができた。 2023年度以降も、連携の実施に向け、各団体と調整を行う。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-2		実施主体	オリパラ等国際大会推進課 スポーツ振興課		
取組項目	まちだサポーターズの活動機会の充実					
取組内容	スポーツ祭東京2013を契機としたスポーツボランティア「まちだサポーターズ」が活躍できる環境を整え、活動参加者数を増やします。					
指標	年間延べ活動参加者数		現状値 (2018年度)	年 3,038人		
			目標値 (2023年度)	年 3,300人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 3,300人	年 3,300人	年 3,300人	年 3,300人	年 3,300人	
実施状況	年 3,405人	年 974人	年 2,474人	年 2,552人		
2022年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期活動 回610人 ・第2四半期活動 回524人 ・第3四半期活動 回982人 ・第4四半期活動 回436人 ・ゼルビア活動(2022シーズン) 18試合480人 ・ペスカドーラ活動(2022-2023シーズン) 11試合234人 					
総括	新型コロナウイルス感染症の影響で活動が減少した2020年、2021年と比べると活動参加者数は微増した。 しかしながら、2021年度のオリンピック・パラリンピックのような、大規模なイベントが無く、コロナ前の参加者数に戻すことはできなかった。 まちだサポーターズ自身で企画したイベントの実施や、研修会の実施など新たに取り組みの実施ができたので今後も継続していきたい。 また、庁内へのまちだサポーターズの存在の周知を図り、活動機会を増加させたい。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-3		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
取組項目	地域密着型スポーツ推進委員の育成				
取組内容	スポーツ推進委員が地域と連携し活動できるよう、市内10地区に均等に配置します。				
指標	スポーツ推進委員が関わる地区協議会数		現状値 (2018年度)	0地区	
			目標値 (2023年度)	10地区	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	0地区	3地区	6地区	6地区	10地区
実施状況	0地区 検討	0地区 検討	0地区 検討	1地区	
2022年度 具体的な 取り組み	成瀬地域に在住の委員を通して、成瀬地区の自治会で開催されたニュースポーツのレクリエーション大会に関わり、講師として指導を行った。				
総括	直ちに地区協議会と連携を行うことは難しい中、一つの実績として関わる事ができた。今後も地区での実績作りを中心に取り組み、将来的に地区協議会と継続的な連携体制が取れるよう進めていきたい。 また、並行して、地域に居住する委員などの意見を参考にしながら、引き続き連携体制のスキームを検討していく。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		
取組項目	地域スポーツクラブの活動支援と地域活動の推進					
取組内容	地域スポーツクラブの活動を支援し、地域と連携した活動の定着を図ります。					
指標	町内会自治会と連携したクラブ数		現状値 (2018年度)	2クラブ		
			目標値 (2023年度)	5クラブ		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	2クラブ 調査	2クラブ 検討 調整	3クラブ 検討 調整	4クラブ 検討 調整	5クラブ	
実施状況	2クラブ 調査	2クラブ 検討 調整	3クラブ 検討 調整	6クラブ 検討 調整		
2022年度 具体的な 取り組み	○アスレチッククラブ町田 町内会自治会のイベントに参加しサッカー教室を開催した。 ○ドリームスポーツ 野津田公園内で多世代を対象とした健康教室を開催した。 ○成瀬鞍掛スポーツクラブ グラウンドを開放し、ストラックアウトやキックターゲットができる地域イベントを開催した。 ○相原地域総合スポーツクラブ 自治会へのイベント協力、地域幼稚園・保育園・小学校でのスポーツ教室開催、地域のジョギングイベント運営、及び自治会と連携してパラアスリート講演会を実施した。 ○町田スポーツ文化ネットワーク 地域住民向けにスポーツ教室を開催した。 ○おやまスポーツ文化倶楽部 地域町内会と連携し、イベントを開催した。					
総括	「まちとも」との連携を中心に、地域の方との連携を深めることで、地域での活動をスムーズに進めることができている。また、各地域で新型コロナウイルス以前のようにイベントが行われ始めた結果、イベント開催等を通じて地域と連携を図る機会を多数得ることができた。「まちとも」との連携のほか、地域イベントへの参加・協力を通じて、引き続き地域と連携した活動の定着を図っていく。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-2		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 体育協会 ほまか		
取組項目	【再掲】家族で参加できるスポーツイベントの開催					
取組内容	すぽーつ祭まちだや市民体力テスト等のイベントが連携し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。					
指標	市民体力テスト年間参加者数 (20歳代～50歳代まで)		現状値 (2018年度)	年 75人		
			目標値 (2023年度)	年 450人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討	年 450人	年 450人	年 450人	年 450人	
実施状況	検討	検討	年 151人	年 144人		
2022年度 具体的な 取り組み	特に参加者の少ない20代から40代の働き世代に多く参加してもらえるよう、親子で楽しめるニュースポーツ体験コーナーやレディオ体操コーナーの設置を行った。 また、体力テストの測定対象は18歳から74歳までであるが、ファミリーで楽しんでもらえるように、17歳以下、75歳以上の方の測定用紙を用意して幅広い年代の方にご参加いただいた。 その他の新たな取り組みとして、包括連携協定を締結する予定の明治㈱に協力いただき、骨密度測定会を実施した。					
総括	昨年度の反省を活かし、小学生用の測定用紙を準備し、ファミリーで測定会に参加できるよう配慮した。その成果もあってか、特に小学生や未就学児のお子様も多くご参加いただいていた。2023年度は、より多くの方に参加していただけるよう、ニュースポーツ体験の内容や広報を見直し、企画を練っていく。また、様々な団体にご協力いただき、イベント自体の拡充を図っていく。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-3		実施主体	オリパラ等国際大会推進課 スポーツ振興課	
取組項目	まちだサポーターズの組織化				
取組内容	まちだサポーターズを組織化し、スポーツイベントの運営に欠かせない存在に育成します。				
指標	まちだサポーターズの育成		現状値 (2018年度)	検討	
			目標値 (2023年度)	実施	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	オリンピック・パラリンピック開催に向けた活動拡充	オリンピック・パラリンピック後の体制づくり	活動方針 検討	活動方針 決定	実施
実施状況	オリンピック・パラリンピック開催に向けた活動拡充	オリンピック・パラリンピック後の体制づくり	活動方針検討 活動方針決定	実施	
2022年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・まちだサポーターズの自立化に向けた検討を行う有志「総務班」の活動を今後も継続していく為、既存の5人のメンバーに加えて新たに5人選任し、計10人の総務班となった。 ・第1回の通常総会を5月に実施した。 ・総務班と事務局との連絡会議を月一回の定例会を開催し、総会やmT、新人研修会、その他の企画に関する事項について話し合いを行った。 ・まちだサポーターズ自身が企画し、運営した聖火リレー1周年企画を7月に実施し、43名のまちだサポーターズが参加した。 ・2013年度に設立し、2023年度に10周年を迎えるにあたり、まちだサポーターズ内から10周年プロジェクトのメンバーを募り動き出した。 				
総括	<p>総務班を増員し、今後も体制を継続していくために動き出した。 自主企画のイベントを実施し、無事に終了できた。今後も自主企画のイベントを増やしていく。 スキルアップのための研修を企画し、実施した。 引き続きまちだサポーターズと協働し、自主運営事業の支援や人材の育成など、まちだサポーターズの自立化を進めていく。</p>				

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	【再掲】「まちとも」と連携した放課後のスポーツ推進					
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。					
指標	スポーツ推進委員・地域スポーツクラブと連携した地区数		現状値 (2018年度)	2地区		
			目標値 (2023年度)	5地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	3地区	4地区	5地区	5地区	5地区	
実施状況	3地区	2地区	4地区	3地区		
2022年度具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○忠生第三小学校(木曾地区) 町田スポーツ文化ネットワーク・講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。 ○小山ヶ丘小学校(小山地区) おやまスポーツ・文化倶楽部・講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。 ○南大谷小学校(玉川学園・南大谷地区) スポーツ塾J.VIC・講師を派遣し、陸上競技教室等を開催した。 ○特定の小学校との調整無し ドリームスポーツ ・学校体育全般の指導や子どもの預かり事業に関して連携の可能性を検討している。 					
総括	昨年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校において「まちとも」と外部指導員との連携を中止していた期間があったが、今年度に関しては、通常開催できた地区が複数あった。 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、2023年度以降、新たに連携事業の実施が出来るよう調整を重ねていく。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-2		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課		
取組項目	大規模スポーツ広場7箇所を含む、調整池、公園・学校予定地等におけるスポーツ施設整備					
取組内容	大規模なスポーツ広場は公のスポーツ施設として整備し、その他の施設は市民利用を拡大します。					
指標	スポーツ施設数(公の施設)		現状値 (2018年度)	29施設 (有料開放している学校4施設含む)		
			目標値 (2023年度)	35施設		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	31施設	31施設	33施設	35施設	35施設	
実施状況	31施設	35施設	37施設	40施設		
2022年度具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○小山上沼グラウンド・野津田公園北テニスコート(4面)整備が完了した。まちだ施設案内予約システムに登録し、2023年度から公の施設として利用を開始する。 ○本町田後田グラウンド ○町田第一中学校代替校庭(旧本町田少年サッカー場)を公園として整備する。公園の全面開園は2025年度以降となるが、既存のグラウンド部分はまちだ施設案内予約システムに登録し、2023年度から公の施設として利用を開始する。 ○金森西田調節池上部公園 多目的グラウンド1面を整備する公園の基本計画を策定した。 					
総括	2022年度は、計画通りに進めることができた。 2023年度は、金森西田調節池上部公園の基本設計を行う。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-3		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	中小規模・民有地スポーツ広場利用のルール作成					
取組内容	中小規模・民有地スポーツ広場は利用のルールを作成し、市民利用を拡大します。					
指標	作成したルールに基づく利用の実施		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	調査 検討	調整 作成	実施	実施	実施	
実施状況	調査 検討	調整 作成	調整 実施	調整 実施		
2022年度 具体的な 取り組み	スポーツ広場をスポーツマップへ掲載すると同時に、スポーツ広場管理運営委員会と調整し、子どもたちがボール遊び等で利用できる時間や利用上のルール等を掲載し情報発信をした。					
総括	スポーツマップ作成地区の拡大にあわせ、順次スポーツ広場の利用方法等について情報発信を進めていく。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-4		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課		
取組項目	公園のスポーツ利用の促進					
取組内容	スポーツ利用できる公園をスポーツマップに掲載し、地域の身近なスポーツができる場の情報提供を行います。					
指標	利用方法の見直し		現状値 (2018年度)	—		
			目標値 (2023年度)	10地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討 調査	2地区	4地区	7地区	10地区	
実施状況	検討 調査	2地区	4地区	7地区		
2022年度 具体的な 取り組み	・3地区(玉川学園、南大谷エリア、町田第一エリア、町田第二エリア)におけるスポーツマップを作成し、配布をした。					
総括	2022年度は、計画通り進めることができた。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-5		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	夜間照明設備の設置					
取組内容	夜間照明設備を設置することにより利用時間の延長を行います。					
指標	夜間照明設置		現状値 (2018年度)	6施設		
			目標値 (2023年度)	9施設		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討	検討	調整	調整	9施設	
実施状況	7施設 8施設	7施設	7施設	9施設		
2022年度 具体的な 取り組み	○小山上沼グラウンド、本町田後田グラウンド 2023年度から公の施設として供用を開始するため、整備を行った。					
総括	2023年度以降の供用開始に向けて、計画どおり進めることができました。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-6		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大					
取組内容	大学・企業連携により、各団体が所有するスポーツ施設を市民が利用できるにします。					
指標	連携団体数		現状値 (2018年度)	2団体		
			目標値 (2023年度)	7団体		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	4団体 検討 調整	5団体 検討 調整	6団体 検討 調整	7団体	7団体	
実施状況	4団体 検討 調整	1団体 検討 調整	2団体 検討 調整	2団体 検討 調整		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京家政学院大学(登録団体数:24団体、登録者数:139人) ・テニスコートの利用に関する連携事業を継続して実施した。また、施設利用の利便性向上のため、大学側と意見交換を行った。 ○法政大学 ・法政大学のスポーツ施設を活用し、スポーツ教室(バドミントン、陸上競技、サッカー、バスケットボール)を実施した。また、スポーツ教室の情報をホームページに掲載し、事業の周知を図った。 <p>【新型コロナウイルスの影響により中止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体において敷地内への立ち入り制限があり、事業を実施することが困難な状況であった。 ○国士舘大学 ○和光大学 ○サレジオ工業高等専門学校 ・施設の貸出について、テスト利用を行い、市民への貸出方法等検討する予定で調整しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、テスト利用が困難な状況であった。引き続き、市民への施設貸出に向けた調整を行う。 					
総括	協定締結団体数は5団体となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体において敷地内への立ち入り制限があり、利用に向けた調整や事業を実施することが困難な状況であった。2023年度以降は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、事業実施に向け、各団体と調整を行う。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-1		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課 営繕課		
取組項目	総合体育館、陸上競技場におけるスポーツ観戦環境整備					
取組内容	陸上競技場を15,000人収容のスタジアムに改修し、競技場の活用の幅を広げ、市民のにぎわいを創出します。 また、総合体育館に大型映像装置を整備し、スポーツの観戦環境の充実を図ります。					
指標	—		現状値 (2018年度)	未整備		
			目標値 (2023年度)	整備		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	整備	整備	—	—	—	
実施状況	整備	整備	—	—		
2022年度 具体的な 取り組み	2021年度で事業完了					
総括	2021年度で事業完了					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-2		実施主体	教育委員会		
取組項目	【再掲】小学校連合体育大会の開催					
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。					
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2018年度)	未開催		
			目標値 (2023年度)	42校		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	14校	42校	42校	42校	42校	
実施状況	14校	20校	42校	42校		
2022年度 具体的な 取り組み	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、小学校連合体育大会を開催した。 10月13(木)14日(金)に町田市立小学校42校の6年生13日(木)には1,866人、14日(金)には1,891人、合計約4,000人が町田GIONスタジアム(町田市立陸上競技場)に集まり、各種競技を行った。 【参加校】 町田市立小学校 42校 【競技種目】 (1)100m走 (2)50mハードル走 (3)走り幅跳び (4)走り高跳び (5)チャレンジ種目(特別支援学級等種目) (6)② 800m走 (7)400mリレー					
総括	子どもたちの、自己の目標を達成する喜びを味わう姿や、他校との交流を深める中で、互いに認め合い励まし合う姿が見られた。本大会を通じて、他校の児童と交流、競技・応援することにより、スポーツを楽しむ機会となった。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-3		実施主体	スポーツ振興課 オリパラ等国際大会推進課 広報課 ほか	
取組項目	パブリックビューイングの実施				
取組内容	ホームタウンチームの試合や町田ゆかりのアスリートが国際大会や全国大会に出場する際など、パブリックビューイングを実施し、オール町田の一体感を創出します。				
指標	年間実施回数		現状値 (2018年度)	年 1回	
			目標値 (2023年度)	年 3回	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	年 3回	年 3回	年 3回	年 3回	年 3回
実施状況	年 5回	年 2回	年 1回	年 0回	
2022年度 具体的な 取り組み	市が主体となって実施することはできなかったが、ホームタウンチーム独自の取り組みとして、FC町田ゼルビアが2022シーズン中に、南町田グランベリーパークで3回、ほっほ町田で7回、東急ツインズで1回、FC町田ゼルビアクラブハウスで2回の合計13回実施した。				
総括	場所や機材等の問題により、主体的にパブリックビューイングを行うことができなかった。 上記の問題に加え、放映権等もあるため、今後はホームタウンチームなど様々な団体が行うものに協力をする形での検討を行っていきたい。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(1) スポーツ情報の発信

番号	4-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	【再掲】市内10地区のスポーツマップの作成・活用					
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を作成し、市内の全小学生に配布します。					
指標	スポーツマップを作成した地区数		現状値 (2018年度)	0地区		
			目標値 (2023年度)	10地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討調査	2地区	4地区	7地区	10地区	
実施状況	検討調査	2地区	4地区	7地区		
2022年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 町田第一地区、町田第二地区、玉川学園・南大谷地区のスポーツマップを作成し、ホームタウンチーム(FC町田ゼルビア)と連携を図り、区域内の小学校9校に配布した。 2020年度に作成した南地区、高ヶ坂・成瀬地区、2021年度に作成した相原地区、小山・小山ヶ丘地区のスポーツマップについては、時点更新の修正をし、新1年生を対象に区域内の小学校17校に配布した。 配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。 2023年度以降作成する地区のスケジュール、掲載内容について検討を行なった。 					
総括	町田第一地区、町田第二地区、玉川学園・南大谷地区のスポーツマップを作成し、小学校9校に配布したほか、南地区、高ヶ坂・成瀬地区、相原地区、小山・小山ヶ丘地区についても新1年生を対象に区域内の小学校17校にスポーツマップを配布した。 引き続き、関係各課や関係団体と連携し、2023年度は、新たに3地区(木曽地区、忠生地区、鶴川地区)のスポーツマップを作成する。					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(1) スポーツ情報の発信

番号	4-1-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 ホームタウンチーム		
取組項目	スポーツ以外の既存情報発信ツールとの連携					
取組内容	スポーツが主たる目的ではない団体と連携し、それらの団体のもつ情報発信ツールを活用することで、今までスポーツ情報が行き届かなかった層に対してスポーツ情報を効果的に届けます。					
指標	—		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討実施	実施	実施	実施	実施	
実施状況	検討実施	実施	実施	実施		
2022年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者支援センター ・地域で開催するスポーツ教室について、チラシの設置を行なった。 ○子どもセンター、保育園 ・地域で開催するスポーツ教室について、各所で発行しているお便りへの掲載やチラシの設置を行なった。 ・まちだ子育てサイトに、小学生や未就学児、親子を対象としたスポーツ教室について掲載した。 ○健康だより(町田市総合健康づくり月間) ・地域で行うスポーツ教室の情報を発信したほか、地域スポーツクラブが作成した「自宅でできる運動動画」について紹介した。 					
総括	対面式の教室に関する周知だけでなく、自宅でできる運動動画やチラシを作成し、引き続き、他部署や他の団体等との連携を図り、新たな生活様式にも対応したスポーツに関する情報を様々な媒体で発信していく。					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	ホームタウンチームと連携したPR活動					
取組内容	ホームタウンチームと連携し、スポーツ施設や駅周辺をチームカラーに装飾します。また、ホームタウンチームの地域活動を支援します。					
指標	—		現状値 (2018年度)	実施		
			目標値 (2023年度)	拡大		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	実施	実施	実施	実施	拡大	
実施状況	実施	実施	実施	実施		
2022年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年5月からペDESTリアンデッキに、Fリーグの開幕に合わせて町田駅ペDESTリアンデッキの横断幕、タペストリーを設置。ペスカドーラのチームカラーで一体感のある装飾にすることでPRを行った。 ・2022年7月、ペスカドーラのシーズン後半戦に合わせて、試合を盛り上げるために町田駅ペDESTリアンデッキにのぼりを設置した。 ・ツイッターを活用したチームのホームゲーム情報、試合結果等、チームに関連する情報発信を開始した。 ・2023シーズンのJ2開幕戦に合わせ、町田駅ペDESTリアンデッキに横断幕、タペストリーを設置し、ゼルビアカラーに装飾すると同時に庁内での応援ウィークを実施する。 					
総括	ホームタウンチームを周知・PRできる場所が限られているため、次年度以降はより広く市民へ周知できるように、新たな広報の場の獲得を検討していく。					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-2		実施主体	オリパラ等国際大会推進課 スポーツ振興課 観光まちづくり課 ほか		
取組項目	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催によるシティプロモーション					
取組内容	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた気運醸成を行います。					
指標	RWC2019及びオリンピック・パラリンピック関連の年間プレスリリース回数		現状値 (2018年度)	年 24回		
			目標値 (2023年度)	年 24回		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 24回	年 24回	—	—	—	
実施状況	年 24回	年 6回	16回	—		
2022年度 具体的な 取り組み	2021年度で事業完了					
総括	2021年度で事業完了					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-3		実施主体	スポーツ振興課 観光まちづくり課	
取組項目	関係団体と連携したイベント開催体制の強化				
取組内容	スポーツ団体、ボランティア組織、観光関係団体等が連携し、スポーツイベント開催時に必要な調整や手続きに係る事務をパッケージ化して、イベント開催を円滑に進めます。				
指標	市内スポーツイベント等開催時の連携実施		現状値 (2018年度)	未連携	
			目標値 (2023年度)	連携による大会開催	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	プレキャンプでの連携の試行	事前キャンプでの連携の試行	・試行結果の検証 ・連携の実施検討	大会主催者等との調整	連携による大会開催
実施状況	プレキャンプでの連携の試行	未実施	未実施	連携	
2022年度具体的な取り組み	第20回アクサプレイクップブラインドサッカー日本選手権のFINALラウンド開催に向けて、主催団体とホームタウンチームや体育協会、町田市が連携し、広報・周知の体制の強化を図ったほか、大会運営にまちだサポーターズの積極的な活用を呼び掛けるなど、円滑に大会が開催ができるよう調整を行った。				
総括	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催が不安定な状況もある中、諸団体と連携を図り、円滑な大会開催に繋げることができた。 ブラインドサッカー日本選手権は3位決定戦、決勝戦の限定的な開催となったため、今後は全国私学バレー大会など多数のチームが出場する大会においても連携を図り、スムーズなイベント開催に繋げていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	スポーツにチャレンジの開催		
2022年度 具体的な 取組み	新型コロナウイルス感染症の影響により、各回の参加人数を縮小するなどの対策を講じながら行った。また、昨年度は極力用具を使用しない、運動強度を下げる等、コロナ禍を考慮した種目を中心に行っていたが、昨年度の実施状況や他イベントの開催状況などを踏まえ、今年度はコロナ禍以前に行っていたトランポリンやボール運動、マット運動などを組み合わせて行う複合種目という運動強度の高い2種目を再開した。		
総括	昨年度よりも様々なスポーツイベントが復活し、運動機会が増えたためか、スポーツにチャレンジに対する反響も大きかった。各回で実施しているアンケートでも、思い切り体を動かすことの楽しみや嬉しさ、親子での運動機会の提供に対する感謝などほぼすべての意見が肯定的であった。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 こどもマラソン実行委員会
取組項目	町田市こどもマラソン大会の開催		
2022年度 具体的な 取組み	対象学年を通常の小学3年生から6年生に戻して実施し、大変多くの方にご参加いただくことができた。また、今大会は第50回の節目であり、記念大会として、ゲストの招聘やマスコットキャラクターの募集、各種ブースの出店などを行い、マラソン以外でも楽しんでいただけるような企画を実施した。		
総括	新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖などにより、申込者数に対する実際の参加率は例年よりも低い値となった。しかし、懸念されていた体力の低下による事故や怪我はほとんどなく、参加されたこども達からは多くの笑顔が見られた。また、マスコットキャラクターの誕生や各種ブースの出店など、マラソン以外の部分で盛り上がりを見せ、次年度以降の大会に向けて発展が期待できる結果となった。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員によるスポーツ教室の実施		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>【地域スポーツクラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法政大学のスポーツ施設を活用し、法政クラブによるスポーツ教室を実施した。 ・各地域子どもセンターや市民センターにおいて、募集人数を制限する等、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じたうえで子ども・親子向けスポーツ教室を実施した。また、幼児・保護者向けの運動動画を作成し、ホームページで公開した。 <p>①スポーツ教室(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスレチッククラブ町田 実施教室: 子育てママパパの子どもと一緒にちよびり運動 場 所: 子どもでんターまあち 参加人数: 40人 <p>②運動動画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田スポーツ文化ネットワーク 実施内容: ダンス&ストレッチ動画 <p>【スポーツ推進委員】</p> <p>学校からの依頼に応じて市内3校(相原小学校、函師小学校、小山小学校)でポッチャ教室を実施。224名が参加した。ポッチャ競技についての簡単な講義から、ルール説明、実践を行った。また小山小学校では、ポッチャに加えてラダーゲッターも実施した。</p>		
総括	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じ、各地域でスポーツ教室を実施することができた。</p> <p>スポーツ嫌いな児童でも楽しめるよう、また、コロナ禍でも安全に実施できるよう創意工夫を行った。ご依頼いただいた先生やボランティアコーディネータ、生徒からも好評をいただき、満足度は高かった。</p> <p>コロナ禍以前に比べると依頼は減少しているものの、再び需要が高まってきているため、2023年度以降も継続して、教室を実施していく。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアバドミントン教室、ハンドボール教室、フェンシング教室、バレーボール教室、バスケットボール教室、ミズビクトリークリニックを実施し、延べ2,694人が参加した。 <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成瀬スポーツデー(テニス・走り方・運動遊び)、成瀬クリーンセンターテニスアカデミー(4歳から18歳まで)を実施し、延べ3,580人が参加した。 <p>【三輪みどり山球場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三輪みどり山スポーツデー(走り方・運動遊び)、ミズビクトリークリニックを実施し、延べ52人が参加した。 <p>【室内プール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児スクール(水泳)、小学生スクール(水泳)、こどもに教えるための水泳教室(水泳)、開放プールクロール教室(水泳)、幼児ダンス(ダンス)、キッズダンス(ダンス)、チルドレンチア(ダンス)を開催し、延べ7,691人が参加した。 <p>【緑ヶ丘グラウンド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズサッカー教室、体力テスト、親子スポーツ教室、かけっこ教室を実施し、延べ878人が参加した。 <p>【相原中央公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生硬式テニス教室を実施し、6人が参加した。 <p>【町田中央公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベビトレヨガ、年少体操教室、体操教室(年中対象、年長対象、小学生対象)、バントワーリング、ヒップホップ(キッズ対象、ジュニア対象)、チアダンス(キッズ対象、ジュニア対象)、トランポリン、バレーボール(小学生対象)、バドミントン(小・中学生対象)、かけっこ(キッズ対象、ジュニア対象)を実施し、延べ557人が参加した。 		
総括	<p>昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による制限が緩和され、各施設で指定管理者の特性を活かした様々なスポーツ教室を実施し、昨年度を上回る参加数となった。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2) 働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】 ・STARTバドミントン教室、初級者卓球教室、大人のバレーボール教室、大人のバスケットボール、シェイプボディ、お楽しみフィットネスプログラム、ボディパンプ、初心者アーチェリー教室、リラククス&リフレッシュ体操教室、初心者ヨガ教室、はじめてフラダンス教室、フラダンス教室、初心者和弓教室、背骨コンディショニング教室、ビューティボディ体操教室、はじめてピラティスを実施し、延べ3,944人が参加した。</p> <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】 ・成瀬スポーツデー【テニス体験教室等】を実施し、延べ100人が参加した。</p> <p>【三輪みどり山球場】 ・三輪みどり山スポーツデー(ヨガ教室・ノルディックウォーキング教室)を実施し、8人が参加した。</p> <p>【室内プール】 ・週末ヨガ、エンジョイエアロ、早朝公開(プール、トレーニング室)を実施し、延べ1,580人が参加した。</p> <p>【町田中央公園】 ・ヨガ(初級、中級)、はじめてフラダンス、ピラティス、大人のHIPHOP、リラククスヨガ、美ボディヨガ、骨盤調整、自重トレーニング、ZUMBA、POWER、POWER CARDIO、はじめてエアロ、ラテンエアロビクス、エアロビクスを実施し、延べ4,925人が参加した。</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 ・ソサイチ・フットサル教室を実施し、延べ112人が参加した。</p> <p>【小野路公園】 ・毎月1回、第3土曜日にアンチエイジングサッカー教室を実施し、延べ590人が参加した。</p> <p>【野津田公園】 ・パークヨガ教室を実施し、延べ1,035名が参加した。</p> <p>【鶴間公園】 ヨガ、ピラティス、ズンバ、太極拳、テニス、フットサル、親子プログラムなどの教室、プログラムを実施し、延べ4,342人が参加した。</p>		
総括	昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症拡大防止による制限が緩和され、各施設で多くのスポーツ教室を実施することができた。各施設で感染症拡大防止対策を十分に講じたうえで、指定管理者の特性を活かした事業が実施し、昨年度を上回る参加者があった。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2) 働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 保健所
取組項目	保健所と連携した健康づくり教室の実施		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>市立総合体育館にて開催した「チャレンジマッスル」において、「夏バテに負けない栄養クイズ」を出題した。運動イベントと絡めつつ、子育て世代に望ましい食習慣を促す機会とした。糖尿病の罹患予防を目的に、運動教室を開催した。運動と食生活は罹患予防に外せない要素であり、食の普及啓発を行う保健所と連携して実施することで、より効果の高い事業となった。</p> <p>【室内プール】 ・保健所が実施している総合健康づくり月間(11月)に、様々な教室を実施し、延べ675人が参加した。 (実施種目) ヨガ、週末ヨガ、ポールエクササイズ、青竹エクササイズ、お試しエアロ、ワンポイントレッスン、水中エアロ、成人クラス(クロール、背泳ぎ、平泳ぎ)、エンジョイエアロ、ベーシックエアロ、はじめてエアロ、脂肪燃焼エアロ、のびのび体操&ストレッチ、バランスボール</p>		
総括	保健所主催の企画を通じて、運動機会を提供することができた。引き続き連携し、それぞれの得意分野を活かした効果的な健康教育を実施する。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツやスポーツ推進委員によるスポーツ教室の実施		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>【地域スポーツクラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域市民センターで高齢者向けスポーツ教室については、募集人数を制限する等、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じたうえで実施した。 ①スポーツ教室(対面) <ul style="list-style-type: none"> 法政クラブ <ul style="list-style-type: none"> 実施教室:はつらつ運動教室 場 所:忠生市民センター 参加人数:20人 <p>【スポーツ推進委員】</p> <p>依頼に応じて忠生第一高齢者支援センターでボッチャ教室を実施。15名が参加した。ボッチャ競技についての簡単な講義から、ルール説明、実践を行った。また、鶴川第一高齢者支援センターからの依頼に基づき、ラジオ体操教室を行う予定。</p>		
総括	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じ、各地域でスポーツ教室を実施することができた。今後も、市民に身近な場所での事業実施を行うほか、魅力ある教室事業を実施することで参加者増に向けて積極的にアプローチしていく。</p> <p>市民センターだけでなく、地域の方が参加しやすい場所(高齢者支援センター等)でスポーツ教室を開催することにより、より多くの方に対し、継続的にスポーツへ参加しやすい環境を提供する必要がある。</p> <p>普段あまり運動をする機会がない高齢者でも楽しめるよう、また、コロナ禍でも安全に実施できるよう創意工夫を行った。コロナ禍以前に比べると依頼は減少しているものの、再び需要が高まってきており、ご依頼いただいたセンター職員や利用者からも好評をいただき、満足度は高かった。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2022年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】 ニス教室、ニュースポーツ体験教室、身体いきいき体操、健康太極拳、のびのび健康づくり体操、リズム体操、エアロビクス、ヨガ教室、イスヨガ、初心者太極拳、お腹周りシェイプを実施し、延べ20,842人が参加した。</p> <p>【室内プール】</p> <ul style="list-style-type: none"> お試しエアロ(水中)、水中エアロ、水泳(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、ワンポイント)、水中ウォーク、初心者水泳教室、泳法別水泳教室、ヨガ、ポールエクササイズ、フラダンス、青竹ビクス、エンジョイエアロ、ボディシェイプ、ベーシックエアロ、はじめてエアロ、脂肪燃焼エアロ、のびのび体操&ストレッチ、バランスボール、脂肪燃焼エクササイズ、ボディバランス、体力向上、理学療法士講習会を実施し、延べ5,033人が参加した。 <p>【町田中央公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳トレ&筋トレ、脳トレ&リフレッシュダンス、シニアウォーキングクラブ、初心者太極拳、認知症予防、太極拳、健康体操を実施し、延べ3,540人が参加した。 <p>【緑ヶ丘グラウンド】</p> <ul style="list-style-type: none"> グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、ニュースポーツ体験教室を実施し、延べ1,736人が参加した。 <p>【野津田公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> エブリディ健康教室、野津田公園ユニカール教室、野津田公園マレットゴルフ一般学習教室を実施し、延べ3,378人が参加した。 <p>【小野路公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週月曜、金曜に体操教室(ストレッチ、体幹トレーニング、シェイプアップエクササイズ、タオル体操)を実施し、延べ2,462人が参加した。 <p>【鶴間公園】</p> <p>スポーツ教室(太極拳、ポールウォーキング等)を実施し、延べ202人が参加した。</p>		
総括	<p>昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による制限が緩和され、各施設で多くのスポーツ教室を実施することができ、参加者も前年度より増加した。各施設で感染拡大防止対策を十分に講じたうえで、指定管理者の特性を活かした事業が実施できた。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4)障がい者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	障がい福祉課
取組項目	障がい者スポーツ大会の開催		
2022年度具体的な取り組み	2022年11月3日に町田市立総合体育館で第49回障がい者スポーツ大会を実施した。 【実施主体】スポーツ振興課、障がい福祉課 【内容】市内福祉施設の障がい者、個人の障がい者が参加。各施設職員以外にも、スポーツ推進委員、障がい児スポーツ教室指導員、町田ライオンズクラブ、町田ガールスカウトなどのボランティアスタッフも数多く参加し、大会運営に携わった。徒競走、パン取り競争、ポッチャ、バドミントン、卓球を実施した。また観覧できるアトラクションとしてペスカドーラチアダンス、ソーシャルワーカーズ(障害者ダンスチーム)によるダンスを実施した。 延べ参加人数 451人		
総括	コロナ禍のためマスク着用、消毒の徹底などの感染対策を行い、2019年以降3年ぶりの開催となった。イベント参加の自粛、マスク着用が難しい等の理由から参加団体は2019年に比べて約半数となり、参加者数も半減した。感染対策のため道具を使った集団競技を中止した代わりに、見て楽しめるアトラクション2種類をプログラムに取り入れ実施した。		

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(1)スポーツを支える人材の育成

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 体育協会
取組項目	有資格指導者データベースの作成・情報提供		
2022年度具体的な取り組み	体育協会事務局及び協会内のスポーツ育成委員会と連携し、各競技団体の有資格者データを作成するための調査及び活用方法等について検討を行った。		
総括	体育協会と協力し、各競技団体及び競技の特性に応じて有資格者データの作成に向けた調査を進め、他自治体等の取り組みも参考にしながら活用方法・課題等を洗い出し、実現に向けて事業を進めていきたい。		

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課
取組項目	スポーツ施設改修に伴う施設の機能向上(室内プール・総合体育館改修、温浴施設整備)		
2022年度具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・温浴施設の整備工事が終了した(2022年12月17日)。 ・総合体育館の改修工事に向け、工事手法やスケジュールの見直し等を関係各課と行った。 		
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・温浴施設については、2022年4月から供用を開始した。 ・総合体育館を早期に改修できるよう引き続き庁内の調整を図っていく。 		

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ
取組項目	クラブハウスを活用したスポーツ環境の充実		
2022年度具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センタークラブハウス、南大谷小学校クラブハウスについては、地域スポーツクラブに維持・管理運営を委託し、利用が少ない時間帯等を活用して、卓球開放や輪投げ開放、体幹教室などを実施し、幅広い世代がスポーツに関わる機会の提供を行った。 ・町田第四小学校、武蔵岡中学校クラブハウスについては、シルバー人材センターに維持・管理運営を委託し、学校開放利用団体が使用する際に、受付業務等を行った。 ・七国山小学校クラブハウスについては、七国山クラブ(地域スポーツクラブ)が維持・管理運営を行っている。 		
総括	クラブハウスについて、地域スポーツクラブが維持・管理運営していくことで、拠点として活用できるように検討していく必要がある。		

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (1)スポーツ情報の発信

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課
取組項目	デジタルサイネージによる情報提供		
2022年度 具体的な 取組み	まちづくり公社が設置したデジタルサイネージの活用方法等について、現在調整中である。		
総括	ホームタウンチームと連携し、情報共有を図りながら活用方法等検討したい。		